

平成26年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、1年間取り組んだ。ここに検証結果を報告する。

項目		目標	行動計画	検証結果
1	公務外非行の防止	公務外であっても、公務員として自覚ある行動をする。	職員行動指針の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に「職員行動指針」を配付し、全員で共通認識できるよう読み合わせを行った。 ・学期ごとに「不祥事防止自己チェック」を行い、常に意識を高める努力をした。 ・毎週月曜日の朝に「不祥事防止標語」を輪番で発表し、全職員が自らのこととして考える取り組みを行った。 ・不祥事防止についてのグループワークを全員で行った。グループごとにまとめたものを掲示し、意見を共有して不祥事防止に努めた。
			啓発資料等により、法令遵守意識の向上	
			不祥事防止のために全職員対象の個別面談の実施	
			不祥事防止自己チェックの実施	
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	子どもの人権について理解を深め、わいせつ・セクハラ行為等を防止する。	研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待をテーマとして研修会を実施した。事例を通して考えるグループディスカッションを行うことで、積極的に意見交換できた。外部講師より、学校とは違った視点のまとめをいただくことで、子どもの人権について理解を深めた。
			不祥事防止自己チェックの実施	
3	体罰、不適切な指導の防止	体罰や不適切な指導についての本質的な理解を深め、防止する。	研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「かかわりの教育学」というテーマで研修会を行い、学校現場での「かかわり合いの意味」について学んだ。本質的な人とのかかわりを考えることで、体罰等の防止に努めた。
			不祥事防止自己チェックの実施	
4	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の保護の本質についての理解を深め、適切な情報管理を遂行する。	文書管理に係るルール周知	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケート調査の結果を共有し、注意点が明示された。 ・情報セキュリティについての基本知識のチェックや外部メディアの扱いのポイントなどを示し、事故防止の基本を確認した。
			不祥事防止自己チェックの実施	
5	交通事故・交通違反の防止	法令遵守の意識を持ち、交通事故、飲酒運転等を防ぐ。	啓発資料等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケート調査の結果を共有し、注意点が明示された。 ・県警が作成した交通事故統計資料を用いて、交通事故防止のポイントについて理解を深めた。
			不祥事防止自己チェックの実施	
6	業務執行体制	事業実施に向けた作業工程表を作成し、計画的かつ適切な準備をする。	作業工程表を活用した業務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・適時適切な報・連・相の推進の必要性を、全職員が参加する会議で再確認した。
			不祥事防止自己チェックの実施	